

# 令和4年度 学校経営計画

令和5年4月の葛生義務教育学校の開校に伴い、本校は令和4年度末をもって閉校となるため、本計画が葛生南小学校の最終の学校経営計画となる。そこで、葛生義務教育学校開校後の教育理念「郷土を誇り 社会に貢献する意欲と国際的視野を備え 自ら未来を創る人を育てる」、学校教育目標「学び続ける人 互いに認め合う人 たくましく生きる人」、校訓「向学 協働 挑戦」とする学校運営につながることを考慮し、作成する必要がある。

本年度の「葛生南小学校 学校経営計画」作成に当たっては、葛生義務教育学校開校後、本校児童が葛生南小学校で培った力を自信をもって発揮できるよう、本校児童に対し教職員が本校の物的・人的環境を最大限に活用した最も質の高い教育が行えるよう「教育目標」の具現化を図りたい。

そこで、現段階で示されている葛生義務教育学校のグランドデザイン等を参考にして、「葛生義務教育学校につなぐ学校経営計画」の視点及び本校の特色ある教育活動を展開する視点で本計画を作成した。

## 1 教育目標

『豊かな心を持ち、心身共に健康で実践力のある児童の育成を目指す』

じょうぶな子	進んで心と体をきたえ、元気で明るい子ども
仲よくする子	思いやりの心を持ち、仲よく助け合う子ども
はたらく子	喜んで仕事や奉仕をし、協力し合える子ども
考える子	進んで勉強に取り組み、よく考える子ども

## 2 目指す学校像

みんな なかよく み がきあう

元気いっぱい 笑顔いっぱい やさしさあふれる 葛生南小学校

### ◎元気いっぱい、互いに磨き合う葛生南小学校

- ・進んで学習し、自分で考え自分から進んで行動する児童を育てる学校
- ・進んで運動し、たくましい心身をもった児童を育てる学校
- ・自分の目標(夢)に向かって努力し、挑戦しようとするたくましい児童を育てる学校

### ◎笑顔いっぱい、安全・安心な葛生南小学校

- ・地域のすばらしさに誇りをもち、地域から信頼され地域と共に成長する学校
- ・美しい環境、明るい校舎、児童が安心して学べる学校
- ・「自分の命は自分で守る」意識をもち、命を大切にす児童を育てる学校

### ◎やさしさあふれる、楽しい葛生南小学校

- ・自分らしさを発揮し、一人一人のよさを認め伸ばすことのできる学校
- ・思いやりあふれる豊かな心を育て、いじめを許さない学校
- ・学年の枠を超えて、みんなが仲よく協力し合える学校

## 3 目指す児童像

未来をめざし

のびようとする心 認め合う心 たくましい心をもつ みなみっ子

### ◎のびようとする心をもつみなみっ子

- ・基本的な学習習慣を身に付け、自分の考えを表現できる児童
- ・自分で考え進んで学習や運動に取り組み、向上心をもって活動する児童
- ・喜んで仕事や清掃に取り組み、学級・学校の一員として活動に取り組む児童

- ◎認め合う心をもつみなみっ子
  - ・基本的な生活習慣を身に付け、あいさつがしっかりできる児童
  - ・自他の良さを認め合い、思いやりの心をもち仲良く助け合う児童
  - ・学校や地域に愛情と誇りをもち、感謝の気持ちをもって生活する児童
- ◎たくましい心をもつみなみっ子
  - ・進んで心身を鍛え、自分の弱さに負けることなく物事に粘り強く続けて取り組む児童
  - ・将来の夢や自分の目標をしっかりともち、実現に向けて挑戦できる児童
  - ・失敗や困難を前向きに受けとめ、次の活動に生かせる児童

#### 4 目指す教職員像

- ◎確かな指導力をもち、信頼される教職員
- ◎教育的愛情をもち、児童・保護者の思いに寄り添う教職員
- ◎協働して職務にあたり、学校力の向上を目指す教職員

- ◎確かな指導力をもち、信頼される教職員
  - ・学習指導・生活指導の自らの指導力向上のために学び続ける教職員
  - ・自己研修に取り組み、得意分野づくりや専門性の伸長に努める教職員
  - ・率先垂範し、子どもと共に活動する教職員
  - ・教育公務員としての自覚をもち、服務規律を遵守し誠実に職務にあたる教職員
- ◎教育的愛情をもち、児童・保護者の思いに寄り添う教職員
  - ・一人一人の児童を注視し、悩みを受けとめ、心に寄り添い適切に対応できる教職員
  - ・児童の良さやがんばりを認め、力を伸ばす教職員
  - ・将来を展望し可能性を引き出し、共に夢を語れる教職員
- ◎協働して職務にあたり、学校力の向上を目指す教職員
  - ・学校経営への参画意識をもち、「チームみなみ」として補完し合う教職員
  - ・家庭・地域・関係機関と連携・協働し、思いや願いを共にする教職員
  - ・業務改善の視点をもち、いきいきと職務にあたる教職員

#### 5 学校経営方針

教育基本法、学校教育法、学習指導要領に示されている目標、内容及び栃木県教育振興基本計画、佐野市学校教育指導計画の方針を踏まえ、全教職員の創意と工夫により、豊かな心をもち、心身共に健康で実践力のある児童の育成を目指す。

- 4 つ の 教 育 —
- ～今を大切に つなぐことに重きをおいて 誇りをもって 有終の美を飾る～
  - 郷育 地域のすばらしさを知り、郷土に愛情と誇りをもてる教育
  - 響育 思いやりと感謝の気持ちを育み、生き方につながる心に響く教育
  - 協育 お互いのよさを認め合い、支え合い、協働し合う教育
  - 共育 児童・家庭・地域と思いを共有し、共に伸びようとする教育

- (1) 教職員が自らの使命を自覚し、一人一人が指導の在り方について創意工夫を図りながら、協働し合って、教育目標の具現化を図る。
- (2) 児童一人一人の自主性を大切にし、それぞれのよさや可能性を生かし、伸ばす指導の充実を図る。
- (3) 確かな学力の定着を図るとともに、児童一人一人が主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
- (4) 教育活動全般において、心の教育の充実を図り、積極的に「本物」から学ぶ教育活動を取り入れ、児童の豊かな人間性や社会性を育み、生き方につながる教育を実践する。
- (5) 学校環境緑化活動をはじめ、教育環境の整備・改善に努め、安全・安心で居心地の良い教育環境づくりに努める。
- (6) 「生きる力」を育む指導の向上を目指し、教職員としての資質と能力の向上につながる研修に積極的に取り組む。

- (7) 閉校の年となることを踏まえ、本校の伝統や小規模校の特性を生かした本校ならではの地域と連携・協働を重視した特色ある教育活動の実践に努める。
- (8) 保護者や地域、関係諸機関等との連携を密にし、児童の安全と健全育成を図ると共に、地域に信頼され、地域と共にある開かれた学校づくりに努める。
- (9) 葛生義務教育学校開校に向け、目指すべき教育目標を共有するなど、つなぐことに重きを置いた、葛生・常盤地区小中学校との小小連携及び小中連携を一層推進する。

## 6 本年度の重点

### ◎信頼される安全・安心な学校

- ・学校の教育活動の積極的な発信及び家庭・地域との連携
- ・「南小ならではの」地域の教育力を生かした特色ある教育活動の推進
- ・教育相談体制の充実（「全職員で全児童を見守り育む」）

### ◎学力の向上

- ・主体的に学習に取り組む態度の育成
- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着と自分の考えを伝え合う表現力の育成
- ・「本物」から学ぶ教育活動の推進
- ・自主的な家庭学習の充実と学習習慣の定着
- ・読書活動の充実と家庭と連携した読書習慣の定着
- ・文具の1つとしての学習用端末の有効的な活用とプログラミング的思考の育成

### ◎心の教育の充実

- ・「みなみっ子 心の教育」の実践（月及び週生活目標の振り返りの継続）
- ・道徳教育の充実（道徳科の指導法研究、道徳的な実践意欲、態度の育成）
- ・よさを認め伸ばす指導の充実（積極的な児童理解、意図的な賞賛の場の設定）
- ・思いやりと感謝の気持ちを育み、協力の大切さを学ぶ異年齢集団活動の充実
- ・あいさつ指導の充実（教職員の率先垂範、あいさつ運動の積極実践）
- ・自他を大切に自己肯定感を高める、一人一人を認め伸ばす指導の充実（「ほめる種をまく」指導）
- ・いじめの未然防止に向けた児童の自浄意識の涵養（「いじめゼロ」への取組、児童自らのいじめを「しない、許さない、見逃さない」意識の向上）

### ◎体力の向上

- ・基本的生活習慣の確立（「心のさのし合言葉」の奨励）
- ・自分から進んで楽しみながら運動に取り組む習慣づくり（サーキット運動、外遊びの奨励、マッスルタイムの実施）
- ・達成感を味わわせ、心身を鍛える指導の工夫（目標設定、見取りと賞揚）

### ◎小中一貫教育の推進

- ・葛生・常盤地区6小中学校の合同・連携活動の充実
- ・葛生義務教育学校へつなぐ教育の研究推進（開校準備各作業部会の取組）

### ◎地域・家庭・関係諸機関と連携・協働した閉校・開校に向けての諸活動の推進

- ・閉校準備委員会を中心とした閉校記念事業等の実施と学校施設・設備の整理
- ・葛生義務教育格好につなぐことを意識した教育活動の実施

## 7 本年度の努力点と具体策

### (1) 調和のとれた学校経営の推進

#### ①学校経営の改善・充実

- ア 確かな学力と豊かな人間性の育成を基本とした教育課程の編成と実践
- イ 教育目標具現化のための適切な学級目標の設定と学級経営の充実
- ウ 学校評価を生かした教育活動の改善
- エ 学校・家庭・地域社会との積極的な連携
- オ 小中一貫教育を踏まえた教育課程の研究
- カ 効果的な複式学級経営の研究推進
- キ プログラミング的思考を取り入れた学習、学習用端末の有効的な活用に関する研修の充実

(2) 教職員の資質向上

① 校内研修の充実

- ア 児童の課題とPDCAサイクルを生かした学校研究課題設定と研究体制の確立
- イ 授業公開と研究協議の活性化
- ウ ICT機器の効果的活用と実践内容の共有化
- エ 同僚性を生かしたキャリアや得意分野におけるOJTの推進

② 自己研修の充実

- ア 絶えざる教材研究の実施と教材研究時間の確保のための業務改善の推進
- イ 各自の得意分野づくり(一人一研究)
- ウ 校外の研究会等への積極的参加(パワーアップ研修、オンライン研修等)と情報・教材の共有化

(3) 健康・体力の増進と安全教育の充実

① 体力の向上を図る指導の充実

- ア 自分から進んで楽しみながら運動に取り組む習慣づくり
  - ・体育授業開始時のサーキット運動の継続的实施
  - ・共遊(学級、ジャンボ班等)と外遊びの奨励
- イ 自分で決めた目標をもって運動に取り組む態度の育成
  - ・意欲をもたせる「マラソントイム」の工夫(マラソンすぐろくの効果的な活用、見己記録更新者の表彰)
  - ・冬季の縄跳びタイム実施の工夫
  - ・教科体育における学習カードの効果的活用
  - ・「水泳カード」「なわとびカード」等の活用と進級時の引継

② 健康教育、食育の推進

- ア 健康的な生活習慣の確立と食に関する指導の充実
- イ コロナ禍における学校の新しい生活様式の意識付けと徹底(「みなみっ子 自分を守る みんなを守る あいことば『あいてますかも』の徹底)
- ウ 性に関する指導や薬物乱用防止教育の充実
- エ がん教育の年間指導計画への位置付けと実施

③ 安全教育の充実

- ア 安全指導の強化(生活安全・交通安全・災害安全教育等)
- イ 安全管理・危機管理の徹底、防災体制の整備
- ウ 「自分の命は自分で守る」意識の高揚と様々な状況を想定しての家庭や関係機関と連携しての避難訓練の実施
- エ 暑さ指数等を考慮した熱中症対策を踏まえての教育活動の選択と実施

(4) 確かな学力の向上を目指した学習指導の充実

① 学習指導の工夫・改善

- ア 基礎的、基本的な内容の確実な習得
- イ 学習に集中して向かうための立腰指導の実践
- ウ 各種学力調査結果の児童一人一人の分析と個への効果的な活用
- エ 主体的に学習に取り組む態度の育成と指導法の工夫(学習形態、板書、発問、ICT機器等)
- オ 葛生南小授業の進め方南小スタンダード(ゴールをイメージした「めあて」の提示「まとめ」、「振り返り」)の確実な実践
- カ 指導と評価の一体化を目指した評価の工夫
- キ 家庭との連携による主体的な学習習慣の確立(ノ・メディアテ-の実践、家庭学習の充実)
- ク 「読む」「聞く」「話す」力の育成
- ケ 伝え合う時間や場の積極的な設定と指導の工夫
- コ 地域や関係諸機関と連携した体験的・問題解決的な「本物」から学ぶ社会に開かれた教育活動の充実
- サ 習得した知識・技能を活用する力を育てる学習活動の工夫
- シ ジャンプ問題の提示と指導の工夫
- ス 語彙力の育成(マイ辞書の活用、朝の活動の改善・工夫)

- ②読書活動の充実
  - ア 朝の活動における読書の継続的实施と家庭での読書の工夫と奨励
  - イ 図書館利用による読書活動の充実
  - ウ 多読賞表彰による読書への意欲付け
- ③外国語指導の充実
  - ア 話す力、聞く力、書く力を身に付けさせるための教師の指導力の向上
  - イ 適切な評価のあり方の研究
  - ウ ALTとの連携による学習活動の工夫
  - エ ALTとの打合せ時間の確保
- (5) 道徳教育の充実
  - ①道徳科の授業の工夫改善
    - ア 「考える道徳」「議論する道徳」への質的転換を図る授業のあり方の研究
      - ・道徳教育の全体計画及び別葉、道徳科の年間指導計画の整備と充実
      - ・一人一人の考えを引き出し、内面の自覚を促す指導の工夫
      - ・評価の工夫改善
    - イ いじめの未然防止につなげる授業実践
  - ②学級・学校の環境づくり
    - ア 自分の考えや気持ちを安心して発言できる環境づくり
    - イ 植物の栽培の推進（一人一鉢栽培の実践、計画的な学級花壇づくり等）
    - ウ 動物とふれあう機会の確保（うさぎの世話等）
    - エ 異年齢集団活動の充実（縦割り班清掃と共遊の実施）
    - オ 校舎・校庭等の環境整備
  - ③家庭・地域との連携
    - ア 「心のさのし合言葉」の日常実践（家庭との連携）
    - イ 地域・育成会行事への積極的参加（御神輿巡行、くずうフェスタ、くずう原人まつり、福祉まつり等）
- (6) 人権教育の充実
  - ①望ましい集団づくりの推進
    - ア 異年齢集団活動を通じた豊かな人間性の育成、人権意識の向上
    - イ 人権が尊重された言語環境、学習環境、教室環境づくり
  - ②日常指導の充実
    - ア 心のふれあいを大切にした学級経営
  - ③人権旬間の充実
    - ア 人権集会（なかよし集会）の内容の工夫
    - イ 「がんばってえらいで賞」の掲示の工夫
    - ウ 啓発紙による家庭との連携・協力
- (7) 児童指導の充実
  - ①児童のよさを認め伸ばす指導の工夫と充実
    - ア 児童の良さががんばりを認め励ます言葉掛け、小善行表彰の継続的実践
    - イ 全教職員間の情報交換、共通理解の活性化
    - ウ 「ほめる種をまく」指導の工夫・実践
  - ②学業指導の充実
    - ア 自己存在感や有用感、成就感を体験し、共感的な人間関係を育みながら、自己決定の場を設けた教育活動の推進
    - イ 互いに学び合い高め合う集団づくり
  - ③全校体制による児童指導の推進
    - ア 相談しやすい雰囲気づくりと教育相談体制の充実
      - 「一人一人の児童を全職員で」
    - イ 問題行動・いじめの未然防止等の組織的早期発見、早期対応の徹底
    - ウ 家庭や地域、関係諸機関との積極的な連携
  - ④自分から進んであいさつができる児童の育成
    - ア 日常指導、学級活動等での継続指導「あかるく いつでも さきに つづけて」を意識した指導
    - イ あいさつの標語の募集と掲示

- ⑤「いじめを しない させない 許さない」指導の徹底
  - ア いじめ防止基本方針の見直し、共通理解、保護者・地域への周知・連携
  - イ 「いじめゼロスローガン」作成を機会とした意識向上と実践への取組
  - ウ 人権集会（なかよし集会）、道徳での心に響く心を耕す指導の充実
  - エ いじめに関する児童一人一人の自浄意識の涵養
  - オ 全職員で一人一人を注視し心に寄り添う指導の充実
  - カ 学校生活アンケートを生かした継続的な指導
- (8) 特別支援教育の充実
  - ①特別な教育的支援を必要とする児童の実態把握とニーズに応じた支援の充実
    - ア ユニバーサルデザインを意識したどの児童にも「分かる授業」の実践、合理的配慮に留意した学習環境の整備の充実
    - イ 個別の指導計画作成・実施・評価・改善の推進
  - ②指導体制の整備・充実
    - ア 特別支援教育コーディネーターを中心とする校内支援体制の確立
    - イ 関係諸機関、学校間で連携した個別の教育支援計画の作成と情報の共有、確実な引き継ぎ
    - ウ 交流学习における担任間の連携と良好な人間関係づくりへの配慮
- (9) 特別活動の充実
  - ①指導計画の改善と指導の充実
    - ア 児童の自主的・実践的な活動を促す計画の改善と実践
    - イ 役割分担を明確にした教職員の協力体制の確立
  - ②学級活動の充実
    - ア 学級及び児童一人一人の実態を考慮した指導の重点化
    - イ 話し合い活動を通じた合意形成のための経験の重視、時間確保
  - ③児童会、クラブ活動、学校行事の充実
    - ア 異年齢集団を生かした活動の充実と上学年児童のリーダーシップの育成
    - イ 児童の主体的かつ実践的活動の工夫
    - ウ 事後の反省を生かした活動の改善
  - ④「小さな親切」運動の推進
    - ア 「小さな親切」8か条の推奨
    - イ 「小さな親切」実行賞表彰（「小さな親切」運動本部との連携）
- (10) 総合的な学習の時間の充実
  - ①指導計画の改善充実
    - ア 地域教材・人材を生かし、地域の理解を深め愛情と誇りを育成する指導の
    - イ 各学年や小中間の関連を図った系統的、発展的な活動の充実
    - ウ 各教科、領域等との関連を図った教科横断的な指導計画の作成と実践
  - ②指導と評価の工夫改善
    - ア 地域の文化や自然を生かした体験的な活動と探究学習の充実（アグリ体験、八木節、地域の自然や人との関わり等）
    - イ 目標や育てたい資質・能力に基づく評価の観点の明確化と評価の工夫
  - ③学習環境の整備
    - ア 学校図書館、情報環境の整備と活用
    - イ 地域の学習材や学習環境の積極的活用
    - ウ ICT機器の積極的活用
- (11) キャリア教育の充実
  - ①推進体制の確立
    - ア キャリア教育の内容、方法についての研修と教職員の共通理解
    - イ 小中一貫の視点に立った指導計画の作成
  - ②教育活動全体を通じたキャリア教育の推進
    - ア 総合的な学習の時間（6年Kidsチャレンジ）を軸とした各教科、道徳科、特別活動との関連を図った地域の教育力を生かした指導
    - イ 自らのよさを知り、さらに向上しようとする意欲と態度の育成

- ③個に応じた指導の充実
  - ア 目標をもたせる指導と実現への支援
  - イ 家庭や地域、関係諸機関との連携
  - ウ 生き方につながるキャリアパスポートの効果的な活用
- (12) 国際教育の充実
  - ①伝統や文化を尊重し、郷土や国を愛する心情の育成
    - ア 日本の歴史や文化、伝統を尊重し、郷土や国を愛する心情の育成
    - イ 世界の出来事に関心を持ち、異文化を理解する教育の充実
  - ②コミュニケーション能力と自己表現力の育成
    - ア 自分の考えをしっかりともち、それを的確に表現できる力の育成
    - イ ALTとのTTを含めた教師の指導力の向上
- (13) 情報教育の充実
  - ①ICTを活用した学習活動の充実
    - ア 各教科の特質や児童の実態を踏まえた情報教育に関わる内容の指導計画への位置付け
    - イ 学習用端末を活用した学習活動の工夫、実践の共有化
    - ウ プログラミング的思考の育成
  - ②情報モラルの育成
    - ア 児童の発達段階を考慮した情報モラルに関する授業の実践
- (14) 環境教育の充実
  - ①体験的な活動の重視と実践的態度の育成
    - ア 主体的に関わり、よりよい環境にしようとする態度の育成
    - イ 家庭や地域など、身近な学習材を生かした環境教育の推進
    - ウ みどりの少年団活動の充実
  - ②教育環境の整備
    - ア 学校緑化計画に基づく計画的な栽培活動
    - イ 学習や生活を豊かにする掲示物の工夫
- (15) 小中一貫教育の推進
  - ①葛生義務教育学校基本理念に基づく実践
    - ア 葛生義務教育学校開校に向けた小中一貫教育の研究推進、教育活動の試行
    - イ 小小連携、小中連携による交流活動の推進(学校行事等の円滑な合同実施)
    - ウ 地域・家庭との協力・連携した閉校・開校に向けての諸活動の推進
- (16) 地域・家庭・関係諸機関と連携・協働した閉校事業の実施と開校への準備
  - ①ボトムアップ方式を取り入れた業務の業務改善の推進
    - ア 教職員の業務改善に関するアンケート実施
    - イ 年間行事計画の削減・スリム化
  - ②閉校準備委員会を中心とした事業の実施と学校施設・設備の整理
    - ア 地域と連携した記念式典・記念事業の実施
    - イ 閉校記念誌の発行
    - ウ 学校施設・設備の計画的整理